

**製品名: 嗅覚受容体 511 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15290**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR511
別名	OR511; OLF1; Olfactory receptor 511; Olfactory receptor OR11-159; Olfactory receptor-like protein OLF1
遺伝子 ID	10798.0
SwissProt ID	Q13606
免疫原	抗血清はヒト OR511 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 206-255

**背景**

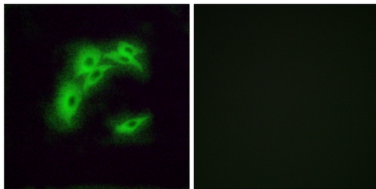
嗅覚受容体ファミリー 5 サブファミリー I メンバー 1 (OR511) ホモ・サピエンス嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚

の知覚を引き起こす神経応答を惹起します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 嗅覚受容体、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。

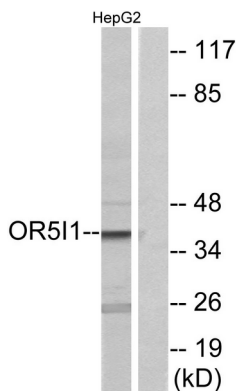
## 研究分野

嗅覚伝達;

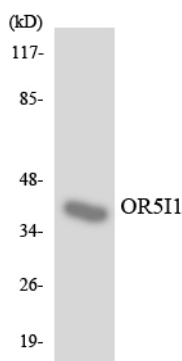
## 画像データ



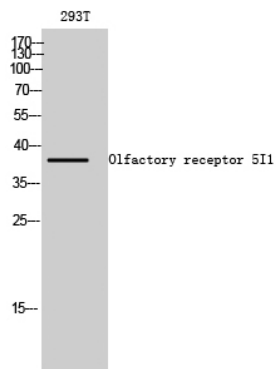
OR511 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



OR511 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR511 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 5I1 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた 293T 細胞のウェスタン  
ブロット解析